

2020年事業報告書(2020年4月1日～2021年3月31日)

2020年度は、予定していた国内外の研修事業や保険フォーラムは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全て中止となった。そのため、研修事業の過去のセミナー講義資料を使用した研修動画を作成し、財団ホームページで公開した。新型コロナウイルスによるパンデミックにより、特に海外から研修生を日本に呼んで対面で実施する研修は開催が難しくなっている。

また、運用環境については、回復傾向がみられるものの、引き続き国内では超低金利が続いた。2022年度の満期償還債券の再投資時期までに金利の上昇が待たれるところである。

1. 事業報告

(1) 研修事業

① 海外現地セミナー

今年度の海外現地セミナーは、3か国で開催することとしていたが、新型コロナウイルス感染拡大のため開催を中止した。

開催地	開催時期	共催団体
中国	中止	—
フィリピン又はカンボジア	中止	—
韓国又はベトナム	中止	—

② 国内セミナー

国内(東京)セミナーは、春秋共に、新型コロナウイルス感染拡大のため開催を中止した。

セミナー名	開催時期	基本言語	参加者数
OLIS 2020 Spring	中止	—	—
OLIS 2020 Autumn	中止	—	—

③ セミナー講義動画作成及び配信

国内セミナーが中止となったため、過去のセミナー講義資料を使用した研修動画を作成し、財団ホームページで公開した。

講義名	講義者	セミナー	言語	公開時期
日本の介護保険について	首藤善弘	2019 台湾 現地セミナー	英語	2020年9月
			中国語	2020年10月
アジアの高齢化	大泉啓一郎氏 (亜細亜大学教授)	2019 東京 秋セミナー	英語	2020年12月
日本の人口動態と 生命保険の未来	久我尚子氏 (ニッセイ基礎研究所)	2019 東京 春セミナー	英語	2021年2月

(2) 教育振興事業

① 生命保険寄附講座

慶應義塾大学理工学部の「生命保険概論」は、4月より11年目(3年講座期間の第4ターム2年目)を開始する予定だったが、新型コロナウイルス感染症のため延期され、10月よりオンライン講座として開講した。

学期「講座名」	開講期間	場所
春学期「生命保険数学特論」	9/1～9/5	オンライン講義

秋学期「生命保険概論」	10/1～12/31	オンライン講義
-------------	------------	---------

また、2014年度より中央大学理工学部・大学院理工学部研究科において「OLIS-プルデンシャル生命・ジブラルタ生命保険寄附講座」を開設し、2020年度は7年目(3年講座期間の第3ターム1年目)を開始した。

学期「講座名」	開講期間	場所
保険数理	後期	オンライン講義
アクチュアリー数理Ⅱ (アクチュアリー数学特論)	後期	オンライン講義

② 保険フォーラム

早稲田大学、京都大学、東北大学、岡山大学及び中央大学で開催予定だった保険フォーラムについては、新型コロナウイルスの感染拡大のため、中止となった。なお、今年度中止となった各大学は、2021年度に開催する予定である(京都大学は2021年度も中止。)

(3) 奨学制度

生命保険を学ぶ大学生を対象にタイ生命保険協会が実施している奨学制度を助成する「タイ生命保険協会奨学制度」は、奨学生4名対して一人5,000バーツ、合計20,000バーツ(約7万円)を7月に給費した。

(4) 広報・出版事業

① 論文・書籍・情報の翻訳

今年度は、『比較検証、がん保険』(佐々木光信 著)を英語に翻訳し出版することに加え、台湾生命保険協会から中国語での出版の要望を受けた、2018年度英訳出版した『FinTechは保険業界の「何」を変えるのか?』(藤井秀樹 松本忠雄 共著)を中国語(繁体字)に翻訳し、出版した。新型コロナウイルスの影響で、昨年度発送しなかった『生保会社の経営課題』(小藤康夫 著)と併せて、完成した各訳本を、アジア各国の生命保険協会、生保関係機関、主要保険会社及び国内関係機関へ、無償で配布した。

② ホームページの改修

セミナー研修動画など最新情報の発信に努めている。

③ 「日本の生命保険マーケット最新事情」の発信

日本の生命保険マーケットの最新事情をアジア各国に理解してもらい、自国の生命保険事業振興の参考としてもらうことを目的に、「日本の生命保険マーケット最新事情」を、英語、日本語、中国語(繁体字・簡体字)の3か国語、4文体で財団ホームページに掲載している。今年度は「日本初のP2P保険「わりかん保険」が登場したが……」、「「新型コロナ」が生命保険業界にもたらす変化～「対面×非対面」の新しい営業モデルを」、「ビジネスモデルの創造に向け、イノベーションラボが本格始動」及び「コロナ禍の2020年上半期を生命保険業界はどう乗り切ったか～激減した業績と新営業モデルの試み」を掲載した。

(5) 運営委員会の開催

広い視野に立って財団の事業の在り方を検討するため、2020年度は次の方に運営委員会委員を依頼し、理事長を議長として次の通り運営委員会を開催した。

① 運営委員の選任

森宮 康 委員 (財団理事 明治大学名誉教授)
 前田 吉昭 委員 (財団理事 東北大学知の創出センター 副センター長)
 鈴木 健市 委員 (株式会社保険社編集営業局部長)
 山内 恒人 委員 (財団理事 慶應義塾大学理工学部数理科学科特任教授)

飯島 至雄 委員（財団評議員 元三井住友海上火災保険(株)執行役員）
寺田 重陽 委員（財団評議員 前財団理事長）

② 運営委員会の開催

・第1回運営委員会

日時 2020年12月16日 17時00分～

場所 (公財)アジア生命保険振興センター理事長室、Web会議システム(Zoomミーティング)

議題 ・2020年度事業報告

・2021年度事業計画

2. 組織運営報告

行事	開催日	主な議事・内容など
会計・業務監査会	(書面開催)	2019年度事業と会計の監査
第26回理事会	(書面開催)	2019年度事業報告及び財務諸表、 定時評議員会開催、評議員候補者の推薦
第14回評議員会	(書面開催)	2019年度事業報告及び財務諸表、 理事の選任、評議員の選任
第27回理事会	(書面開催)	代表理事の選定
第1回運営委員会	2020年12月16日	今後の事業展開
第28回理事会	2021年2月8日	2021年度事業計画及び収支予算 2021年度資産運用計画

3. 管理部門

(1) 内閣府立入検査

2020年10月16日に内閣府立入検査が実施され、概ね良好な財団運営であるとのコメントをいただいた。新規役員の欠格事由非該当については、確認の証跡を残すよう口頭指導を受けた。

(2) 職員の勤務状況

新型コロナウイルス感染拡大への対応として在宅勤務を基本とし、必要に応じて月に数日オフィスに出勤する態勢としている。